

地球温暖化対策実施状況報告書

平成 28 年 7 月 27 日

香川県知事 殿

報告者

住所 香川県善通寺市仙遊町2丁目1-1

氏名 独立行政法人国立病院機構

四国こどもとおとなの医療センター 院長

中川 義信

印

香川県生活環境の保全に関する条例第94条第5項の規定により、地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況について、次のとおり報告します。

事業者の主たる業種	83 医療業
事業者の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第1号に該当する事業者 <input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第2号に該当する事業者
事業の概要	医師が患者に対して医業を行う事業所及びこれに直接関連するサービスを提供する事業所
事業所の名称及び所在地	別紙のとおり
地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況	様式2のとおり
実施状況の公表予定年月日	平成 28 年 8 月 1 日
実施状況の公表の方法	インターネットの利用により公表する。 公表場所：当院ホームページ
連絡先	担当部署 事務部企画課 担当者 井上 翼 電話番号 0877-62-1000 F A X 番号 0877-62-6311 電子メールアドレス inoue-t@hosp. go. jp

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。
 2 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

(別紙)

事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地	種類
① 第一種エネルギー管理指定工場等及び第二種エネルギー管理指定工場等			
1	四国こどもとおとなの医療センター	香川県善通寺市仙遊町2丁目1-1	第一種
2			***
3			***
4			***
5			***
② その他の事業所			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		平成 27 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		<ul style="list-style-type: none"> ・緑地の整備（植樹）の実施 ・高効率照明器具（LED等）の導入 					
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	温室効果ガスの吸収等	区 分			実施年度（平成 27 年度）		
					二酸化炭素換算(t)		
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等			t-CO ₂		
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用			t-CO ₂		
		グリーン電力証書の購入			t-CO ₂		
		グリーン熱証書の購入			t-CO ₂		
		オフセット・クレジットの購入			t-CO ₂		
		国内クレジットの購入			t-CO ₂		
	J-クレジットの購入			t-CO ₂			
	合 計			① t-CO ₂			
		区 分	基準年度 (平成 26 年度)	目標年度 (平成 29 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (平成 27 年度)	対基準 年度比 (%)
		温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算(t))② 9,192 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 9,100 t-CO ₂	99.0	(二酸化炭素換算(t))③ 8,769 t-CO ₂	95.4
		<input checked="" type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算(t))② 9,192 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 9,100 t-CO ₂	99.0	(二酸化炭素換算(t))③-① 8,769 t-CO ₂	95.4
		<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B					
		温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B					
特記事項							
備考							

(注)

- 1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記載した数値を転記すること。
- 2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。
- 3 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記載したもののほか、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。
- 4 「備考」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

【別表2】

(平成 27 年度)

事業所名 独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C			
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kl			kl				
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kl			kl				
	揮発油 (ガソリン)	1.897	kl	66		kl		66	4.4	
	ナフサ		kl			kl				
	灯油		kl			kl				
	軽油		kl			kl				
	A重油	1.11	kl	43		kl		43	3.0	
	B・C重油		kl			kl				
	石油アスファルト		t			t				
	石油コークス		t			t				
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t			t			
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t			
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³			
	石炭	原料炭		t			t			
		一般炭		t			t			
		無煙炭		t			t			
	石炭コークス		t			t				
	コールタール		t			t				
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³				
高炉ガス		千m ³			千m ³					
転炉ガス		千m ³			千m ³					
都市ガス	773	千m ³	35,558		千m ³		35,558	1,773.2		
その他の燃料										
小計 ①								1,780.6		
熱	産業用蒸気		GJ			GJ				
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ				
	温水		GJ			GJ				
	冷水		GJ			GJ				
小計 ②										
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位		H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
電気	一般電気事業者	6209	千kWh			千kWh		6,209	4,197.3	
		4124	千kWh			千kWh		4,124	2,787.8	
	その他	上記以外の買電		千kWh			千kWh			
		自家発電		千kWh			千kWh			
小計 ③								6,985.1		
合計 (t-CO ₂) ④=①+②+③								8,765.7		

一般電気事業者： 四国電力

事業所名	自動車 エネルギー使用量・台数											
	ガソリン (kl)			軽油 (kl)			LPG (t)			都市ガス(CNG) (千m ³)		
		台数(台)			台数(台)			台数(台)			台数(台)	
		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く
四国こどもとおとなの医療センター	1.897	12	12									
合計	1.90	12	12									

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量		二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位	
ガソリン	1.90	kl	65.64	34.6	GJ/kl	4.40
軽油		kl		37.7	GJ/kl	
LPG		t		50.8	GJ/t	
都市ガス(CNG)		千m ³		46.0	GJ/千m ³	
合計						4.40

※ LPGの液体密度は、一般に0.50~0.60kg/lですが、デフォルト値として0.56kg/lを用いても構いません。

(数値把握の方法)

- 燃料法 (直接、燃料使用量を把握する方法) によるもの
- 燃費法 (車両の燃費と走行距離により燃料使用量を把握する方法) によるもの
- その他の方法 ()

集計表

区分	平成 27 年度 (t-CO ₂)
エネルギー起源二酸化炭素の排出量 (別表2)	8,765
自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量 (別表5)	4
エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量	

合計	8,769